

正誤表

2022年3月14日

2023年目標 TAC建築士講座

級	一級
講義	学科
科目	施工
教材	中間テスト

日付	頁	内容
3/14	中間テスト 施工 No. 2 解説	<p>・ 中間テスト施工 [No. 2] は、解答の必要はありません。</p> <p>・ 中間テスト施工 [No. 2] については、肢4を正答肢（不適當）と想定していましたが、次のとおり不適當とは言えませんので、不適當なもの（正答肢）がありません。</p> <p>・ 採点に当たっては全員正解とします。</p> <p>【No. 2】肢4 設問の確認</p> <hr/> <p>工事施工者から工事に関する質疑書が提出された場合には、設計図書に定められた品質（形状、寸法、仕上り、機能、性能等を含む。）確保の観点から技術的に検討し、ただちに工事施工者に回答する。</p> <hr/> <p>【補足】</p> <p>必要に応じて建築主を通じて設計者に確認のうえ、工事施工者に回答します（＝回答を通知します）が、設計者に確認する必要がなく監理者が回答できる内容であれば、ただちに工事施工者に回答しますので、設問は不適當とは言えません。</p> <p>以下に、関連する過去問を掲載します。</p> <hr/> <p>【参考①：施工1問1答No. 36、四肢択一問9（H3001）肢2】</p> <p>「工事施工者から工事に関する質疑書が提出された場合には、設計図書に定められた品質（形状、寸法、仕上り、機能、性能等を含む。）確保の観点から技術的に検討し、必要に応じて建築主を通じて設計者に確認のうえ、回答を工事施工者に通知する。」（正）</p> <hr/> <p>【参考②：施工1問1答No. 812、四肢択一問243（H2725）肢2】</p> <p>「監理者は、監理業務の委託契約に基づいて、発注者の委託を受け、受注者から工事に関する質疑書が提出された場合、設計図書等に定められた品質確保の観点から技術的に検討し、当該結果を受注者に回答する。」（正）</p> <hr/>

以上のとおり、訂正をお願いいたします。